

OKAYAMA International classic 特別車輛規則・特別規則

Historic car race

特別車輛規則

第1条 競技に参加できる車輛及びクラス

- 1975年までに生産された車輛(英国車・フランス車・イタリア車、他)ただしアメリカ車・ドイツ車・日本車は1970年までとする。
(Miniは、ダイレクト及びリモートチェンジの車輛に限る)
※上記以外で主催者が特別に認めた車輛は参加が許される。
- チューニング度合いにより、クラスグッドウッド、ヒストリッククラス、ヒストリックモトの3クラスに分ける。
さらに、クラスグッドウッド、ヒストリッククラスについては、排気量により次の2クラスに分ける。
 - 1500アンダークラス:排気量1500cc未満
 - 1500オーバークラス:排気量1500cc以上

第2条 安全規定

本競技会に出場する車輛は、安全確保のため下記の事項が義務付けられる。

- ロールケージ
スチール製で6点式以上を義務とする。車体の形状上主催者が特別に判断した場合に限り3点式以上を認める場合がある。
- 安全ベルト
安全ベルトはフルハーネスタイプ4点式以上のものを取り付けなければならない。その材質取り付け方法等は、JAFシートベルト指導要項に準ずること。
(ブッシュパッカル式は禁止)HANSの使用を強く推奨する
- ブレーキ
単一制御操作による二重制御装置を備えることが望ましい。
マスターシリンダー(クラッチを含む)のキャップには、緩み及びフルード漏れがない様テーピングをすること。
- 燃料タンク
FIA・JAF公認、又はMiniJackが認めた安全タンクを使用することを義務とする。
- 座席
助手席及び後部の座席は取り外さなければならない。運転席は4点以上でボディに確実に固定すること。
フルバケットシートを義務とする。ただしグッドウッドクラスについては、強く推奨する。
- ライト
ライト類のガラスは飛散防止対策をすること。
- 制動灯および方向指示器
制動灯及び方向指示器は正常に作動しなければならない。
- フロアマット及びカーペット
フロアマット及びカーペットは取り外すこと。
- タイヤ及びホイール
タイヤはいかなる状態の時も他の部分と接触してはならない。
- 排気管
全ての車輛は、サイレンサーを取り付けなければならない。その取り付け方法は針金などの暫定的なものであってはならない。排気管は後方もしくは側方に向けなければならない。燃費燃料系統に対して十分な防護措置を講じなければならない。
- オイルキャッチ装置
オイルがコースに流出することを防ぐため、最低2L以上で確実な装置を有さなければならない。
装置材質はペットボトルやオイル缶などの暫定的なものは使用してはならない。
取り付け方法は、針金やテープなどによる暫定的なものであってはならない。
- 車室
車室はエンジンルーム、ガソリンタンク、オイルタンク、ギアボックス、プロペラシャフト、バッテリー、配管の継目等から完全に隔離されていなければならない。
- バッテリー
移動が可能。確実に固定の上、ターミナルを絶縁すること。
- サーキットブレーカー
車室内外により操作できるサーキットブレーカーの取付については
 - ・クラスグッドウッド:取付を強く推奨する
 - ・ヒストリッククラス、ヒストリックモト:取付を義務とする
- 消火装置
内容量1.5kg以上の乾性の科学消火器、またはそれと同等以上の能力を有する消火器を速やかに操作できる状態で車室内に搭載しなければならない。
- けん引フック
前後に取り付けなければならない。
内径50mm以上、色は赤又は黄色でなければならない。十分な強度を有する事。
- 安全でない車輛
改造及び付加物取り付けなどにより主催者が安全でない車輛と判断した場合、その指示に従わなければならない。

第3条 クラスグッドウッドに許される改造

- エンジン
エンジン及び補器は次の各項を除き改造してはならない。
エンジン及びシリンダーヘッドは生産時と同一型式のものでなければならない。
 - クランクシャフト・コンロッド:自由ただしストロークの変更は不可
 - ピストン及びボアサイズ:自由
 - カムシャフト及び動弁系(バルブスプリング含む):自由
 - エアクリナー:自由
 - 点火系:自由ただしディストリビューターを使用しなければならない
 - 冷却系:自由
 - オイルクーラー:自由。ただしドライサンプ車輛は不可。
排気系:自由ただしサイレンサーの取付義務
 - 呼吸装置:吸気系は自由(電気式インジェクションへの変更は不可)
ただし、過給器については当初から取り付けられたもののみ許される。
過給器:製造当初より取り付けられていたもののみ可
 - 燃料ポンプ:自由

2. パワートレイン及びシャシー

パワートレイン、シャシーは次の各項を除き改造してはならない

- トランスミッション:当初の段数を変えなければ変更可。ただしシーケンシャルは不可
 - デファレンシャル、フライホイール、クラッチ:自由
 - スタイピライザー:自由
 - サスペンション:自由
 - ブッシュ類:形状の変更が無ければ材質の変更は認められる(ピロボールは不可)
 - タイヤ:DUNLOP G5、CR65、CR70に限る。
 - ホイール:2インチアップまで可。ミニは10インチに限る。
- #### 3. 車体の外部及び内部
- 次の各項を除き改造してはならない
- ボディ:改造不可(安全タンク取付の為の最小限の加工は認める)
 - ボンネット・トランク:材質の変更のみ可
 - オーバーフェンダー:ミニに限り取付を認める
 - バンパー:ステーを含み取り外しは許される
 - ウインドウ:フロントガラス以外は、他の透明な素材に変更可。
オープンカーに限りフロントも変更可。
 - 車室:エンジンルーム、ガソリンタンク、ギアボックス、プロペラシャフト、バッテリー、配管の継目等から、完全に遮断されていなければならない。

第4条 ヒストリッククラスに許される改造

クラスグッドウッドに許される改造に加え次の項目が加えられる。

1. エンジン

- クランクシャフト・コンロッド:自由、ストロークの変更も可
- 点火系:自由

2. パワートレイン及びシャシー

- トランスミッション:自由ただし前進5段変速まで。シーケンシャル不可。
- ブッシュ類:自由
- タイヤ:自由ただしスリットタイヤは不可

第5条 ヒストリックモトクラスに許される改造

ヒストリッククラスに許される改造に加え次の項目が加えられる。

1. エンジン

- ブロックについては同一型式のものを使用しなければならない
- シリンダーヘッドを含み自由
- 排気量:自由
- マフラー:自由
- 吸気系:自由
- 過給器:自由

2. パワートレイン及びシャシー

- トランスミッション:自由
- タイヤ:自由
- ホイール:自由
- ボディ:自由 ただし十分な強度を保つこと

特別規則

1. 車輛の交換、ドライバーの変更

参加申込締切後の車輛交換、ドライバー変更は主催者の承認を得なければならない。申告の期限は当日参加受付時間内までとする。

2. 競技番号(ゼッケン)

- 参加車輛は競技番号をつけなければならない。
競技番号は参加者の希望を優先するが、最終的には主催者が決定する。
- 主催者によって定められた競技番号を車輛のボンネット、左右ドアの計3箇所以上に参加者自身が車体色と対照色で明確に記入すること。
競技番号はゴシック体として線の太さは5cm以上、天地30cm以上とする。

3. 誓約書

大会参加者は下記の誓約書の事項を承認するものとする。
「私達は本大会特別規則ならびに特別車輛規定に同意します。また走行会参加にあたり関連して起こった死亡・負傷、その他の事故で私達参加者及び運転者・要員及び車輛等に受けた損害に対して決して主催者及び大会委員・係員・雇用者(コース所有者を含む)ならびに他の参加者などに対して非難したり責任を追求したり、損害の賠償を要求したりしないことを誓約致します。なお、このことは事故があっても変わりなく、私の過失によってサーキット所有の施設機材、車輛等に損害を与えた時、その損害について弁償致します。さらに、本大会に参加するエントリー、ドライバー、及びピットクルーの氏名、参加車輛の写真、レース結果等を報道、放送、掲載の権限を主催者が持つことを承知いたします。」

4. 損害の補償

- 参加者、ドライバーは、サーキットの施設、機材、機具等に対し、自己の行為によって生じた損害の補償の責任を負うものとする。
- 自己の車輛の損傷については、相手の有無に関わらず全て自己責任とする。
- 参加者、ドライバーは、参加申込書に記載された誓約文を了承してその証として署名、捺印をしなければならない。

5. 服装

レーシングスーツ、グローブ、ヘルメットを着用しなければならない。
レーシングスーツおよびグローブは、耐火のものではないと認められない。
耐火素材の場合は、耐火のアンダーシャツ及びアンダーパンツを着用しなければならない。
ヘルメットは、四輪競技用のものでなければならない。
ただし、2輪用のものでも、耐火のフェイスマスクを着用すれば使用を認める。
※HANSの装着を強く推奨する

- 大会規則を遵守しない参加者には、主催者の判断により出走を拒否する場合がある。
- 主催者側が適格でない判断した車輛は、参加受理及び出走を拒否する場合がある。
- この特別車輛規則・特別規則は予告なく変更される場合がある。